

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	橋梁長寿命化修繕計画事業												
測定年度	2020 (R2) 年度			部	土木部				課	道路河川管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標		1.災害に対する備えができています										
	実行計画名		1-2.防災対策の推進										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	2011 (H23) 年度			年度	~		年度まで					
根拠法令等	道路法											
関係補助金名称								サンセット	~			
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	橋梁の利用者										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	突発的な補修が発生した場合は多大な財政負担が発生することになり、迅速な補修に影響を与える。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	計画的な点検、修繕を行うことにより、道路の安全を確保し、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。											
事業概要	対象橋梁を選定した中で、各橋梁の修繕内容・時期又は架替え時期を検討して、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、進捗管理を行う。											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						「橋梁長寿命化修繕計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「橋梁長寿命化修繕計画」に係る事務を実施する。			
指標説明						橋梁点検を完了した箇所数				計画に基づく橋梁点検必要箇所数			
		単位				単位				単位			
指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					30	141	85	2	30	141	85	2
	実績					30				30			
	達成度					100%				100%			
	分析					計画通り点検を完了した。				計画通り点検を完了した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,566	4,810	5,981		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,566	4,810	5,981		
	物件費計	50,161	6,069	6,564	6,564	100%	
歳出計		55,727	10,879	12,545			
歳入	国庫支出金	27,500	2,750	3,135	3,135		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	27,500	2,750	3,135	3,135		
一般財源		28,227	8,129	3,429	3,429		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度に枚方市橋梁長寿命化修繕計画の改定を行ったため、例年より多く人員を配置した。また、橋梁の点検については計画通りに実施することができた。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	計画に基づき、橋梁の点検を実施する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	開発行為に伴う帰属道路処理事務											
測定年度	2020(R2)年度			部	土木部			課	道路河川管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち										
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	開発事業等に伴い開発業者が整備する道路施設を市へ移管することにより宅地等の土地利用を図りたいと計画する人。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	法令等に基づいた手続きが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	開発行為に際し、都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続きに関する条例に基づき、道路形状構造等について開発者と協議を行い、良好な道路環境、形成を図れている。				
事業概要	開発行為に際し、都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続きに関する条例に基づき、道路形状構造等について開発者と協議を行い、良好な道路環境、形成を図る。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	開発行為に対し、各法令等に基づき、道路形状構造等について開発者と協議を行い、良好な道路環境、形成を図る。				インプット (活動)	開発事業等に際し、法令等に基づいた手続きを実施する。			
	指標説明					アウトカム (活動効果)	協議が完了した件数				インプット (活動)	法等に基づく協議件数			
指標設定	指標種類					単位					単位	件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績					300	300	300	300	300	300	300	300		
	達成度					91%				91%					
分析					新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言、まん延防止措置により、少なからずとも不急の協議等が控えられたと推測される。				建築確認協議件数は増えたが、その他開発等の協議件数の減少により、全体として協議件数が減少した。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,144	10,422	9,171		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	9,144	10,422	9,171		
	物件費計	2,114	756	1,841	6,297	29%	
	歳出計	11,258	11,178	11,012			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	1,607	1,512		
	市債	0	0	0	0		
	その他	2,114	756	234	244		
	歳入計	2,114	756	1,841	1,756		
一般財源		9,144	10,422	0	4,541		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	開発行為は社会情勢等の影響を受けやすい。そのため新型コロナウイルス感染症の拡大により協議件数が減少したと想定され、指標の達成度は減少したが、協議申請受付分については適正かつ円滑に事務執行を行うことができた。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	法令や条例に基づき、開発者と道路構造形状等の協議を行い、良好な道路の環境整備に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	道路等管理事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	土木部			課	道路河川管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	道路の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	道路の管理瑕疵による事故がないようパトロールを継続的に実施し、道路の安全確保を維持する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全で利便性の高い道路が維持できている。				
事業概要	規制を行うための路線認定行為 道路の管理瑕疵による賠償 第三者による道路施設の損傷行為について現状復旧のための原因者に対する指導 年2回の道路一斉パトロール				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						路線認定行為を通じて、道路機能を確保する。				規制を行うため、路線認定行為を実施。			
指標設定	指標説明					市が管理する道路延長に対する認定路線延長率				認定路線道路延長			
	指標種類	単位				単位 %				単位 m			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標 (見込み)					70	70.10	70.20	70.30	5,000	5,000	5,000	5,000
	実績					69.70				4,407			
	達成度					100%				88%			
	分析					予定通り実施することができた。				予定通り実施することができた。			
ロジックモデル②						発生した瑕疵に対し、適切に賠償を行う。				道路管理瑕疵に基づく賠償を実施。			
指標設定②	指標説明					道路瑕疵に対する賠償対応率 【算出式: 道路瑕疵による事故件数/賠償件数×100】				道路管理瑕疵相談件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標 (見込み)					100	100	100	100	5	5	5	5
	実績					100				14			
	達成度					100%				0%			
	分析					1件の賠償事務を適正に処理した。				見込みよりも相談件数が多かった。			

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					道路施設損傷の原因者負担による施設復旧 工事を行う。				道路施設の損傷行為について、原因者に対 し、復旧指導を行う。					
指標設定 ③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				損傷行為に対する復旧件数				道路施設の損傷行為に対する指導件数					
	単位				単位				単位					
	指標種類				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)						150	150	150	150	150	150	150	150
	実績						167				167			
	達成度				89%				89%					
分析				見込みよりも増加した。				事故による道路施設の損傷に対して、速やか に事務執行を行った。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	6.69
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	64,626	62,740	47,633		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	64,626	62,740	47,633		
	物件費計	18,816	18,491	20,218	22,545	90%	
	歳出計	83,442	81,231	67,851			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	18,220	18,306		
	市債	0	0	0	0		
	その他	18,816	18,491	4	80		
	歳入計	18,816	18,491	18,224	18,386		
	一般財源	64,626	62,740	1,994	4,159		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	路線認定事務については、例年通りとなった。その他の事務については、件数が増加しており事務処理に時間を要した。 路線認定数 91件、道路管理瑕疵に基づく賠償 1件、道路施設損傷 167件 放置自動車等調査 4件、不法投棄処理 70件、放置自転車撤去 90台、放置バイク撤去 7台
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して効率的な事務執行を行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	道路占用・掘削許可事務													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	土木部				課	道路河川管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業		区分	非選択的事務事業							
事業期間	2004 (H16) 年度		年度	~	年度まで								
根拠法令等	道路法												
関係補助金名称							サンセット	~					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	土地利用を計画される人または事業者で道路許可を必要とするもの。											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	法令等に基づいた手続きが求められている。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	申請時または事前に協議を行い、手続きの進行がスムーズにできている。												
事業概要	道路法の規定に基づき、道路における電気、ガス、水道、下水道等の占用申請について、警察と協議しその許可を行う。												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						申請時または事前に協議を行い、手続きの進行がスムーズにできている。				道路占用・掘削に関する許可申請を受け付ける。			
指標説明						申請に対する処理完了件数				許可申請件数			
		単位				単位				単位			
指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	実績					2,469				2,469			
達成度						99%				99%			
分析						申請に対して、適正な事務を行った。				申請に対して、適正な事務を行った。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.45
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	15,504	16,836	19,539	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	15,504	16,836	19,539	
	物件費計	0	0	4	0	—
	歳出計	15,504	16,836	19,543		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	4	4	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	4	4	
一般財源		15,504	16,836	0		▲ 4

#### 5. 総括的分析

総括的分析	例年通りの申請件数であった。今後、処理時間の短縮のため電子化等の検討を行い効率化を図る。 道路占用許可申請 2128件 道路工事施工承認申請 299件 枚方市道路占用連絡協議会の開催 2回(書面開催)
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	法定外公共物整理事務											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	土木部			課	道路河川管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち										
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	2000 (H12) 年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	条例											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	法定外公共物の利用者、隣接者等										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	譲与を受けた法定外公共物は未整備物件が多い										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	国から譲与を受けた里道等について、現況機能に応じた管理ができています。											
事業概要	国から譲与を受けた里道等の通行機能の有無について精査を行い、機能のないものについては返還を行い、機能を有する未譲与物件の追加譲与を行い、現況機能に応じた管理ができるよう情報整理を行う。											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						国から譲与を受けた里道等について、現況機能に応じた管理ができています。				国から譲与を受けた里道等の通行機能の有無について精査を行う。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明					精査が完了した里道等の管理件数				精査件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					10	10	10	10	10	10	10	10
	実績					2				2			
達成度					20%				20%				
分析					追加譲与の相談件数が当初の想定よりも少なかった。				相談を受けた2件すべて追加譲与を完了した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.47
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	954	2,565	3,748		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	954	2,565	3,748		
	物件費計	326	348	254	590	43%	
	歳出計	1,280	2,913	4,002			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	254	239		
	市債	0	0	0	0		
	その他	326	348	0	0		
	歳入計	326	348	254	239		
一般財源		954	2,565	0	351		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	公共事業に伴う追加譲与の相談が寄せられなかったため、全体の件数としては減少したが、相談の受付分については、円滑に事務を実施できた。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	相談や協議に基づく調査を速やかに行い、必要な場合は迅速に追加譲与の手続きに取り組む。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	道路アダプト事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	土木部				課	道路河川管理課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標			28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち										
	実行計画名			28-1.美しい景観形成の推進										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2004(H16)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	道路等の環境美化活動をする市民団体等				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	美観が守られていない道路がある。				
	ターゲットが抱える課題	道路等の美化活動を行う意欲がある団体等が参画できる仕組みや位置づけが存在しない。				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公共空間である駅周辺や住宅街の市の管理する道路を市民が道路の里親となり管理を行い、市民や事業者と市がパートナーシップを組み街の美観を守れている。					
事業概要	枚方市道の清掃活動及び植栽の維持管理、支障箇所の通報活動を地域が行い、市が清掃道具の貸与や廃棄物の処理を行う活動の推進					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	公共空間である駅周辺や住宅街の市の管理する道路を市民が道路の里親となり管理を行い、市民や事業者と市がパートナーシップを組み街の美観を守れている。	参加団体により、道路の環境美化活動を実施する。				枚方市アダプトプログラムに合意した団体が道路アダプト事業に参加する。						
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	市民の環境美化満足度				環境美化活動数				参加団体数			
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
指標数値	目標 (見込み)	100	100	100	100	16	16	16	16	16	16	16
	実績	83				19				19		
達成度	83%				119%				119%			
分析	花苗の提供団体は12団体あり、概ね満足であるとの評価を得た。				新型コロナウイルス感染拡大のため、前期の花苗の提供は中止したが、団体数が増加した。				新型コロナウイルス感染拡大のため、前期の花苗の提供は中止したが、団体数が増加した。			

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,749	1,363	2,153		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,749	1,363	2,153		
	物件費計	545	508	271	660	41%	
	歳出計	2,294	1,871	2,424			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	271	255		
	市債	0	0	0	0		
	その他	545	508	0	0		
	歳入計	545	508	271	255		
一般財源		1,749	1,363	0	405		

5. 総括的分析

総括的分析	道路アダプト団体は、花などの植栽の管理を行っている19団体であり、そのうち12団体に花苗の支援を行っている。満足度調査では83%が満足であるとの回答を得ており、引き続き花苗を提供しすることで道路の美化活動の推進を図る。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	環境部が枚方市アダプトプログラムを実施しており、花苗を提供する事務を道路等管理事務に統合する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	河川・水路・法定外水路境界明示事務													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	土木部				課	道路河川管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	2011 (H23) 年度				年度	～ 年度まで							
根拠法令等	河川法、枚方市法定外公共物の管理に関する条例、枚方市手数料条例												
関係補助金名称												サンセット	
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者。											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	所有する土地の売買や開発等に当たっては、隣接道路等との境界を確定する必要がある。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本市が管理する準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界確定についてスムーズな手続きができています。												
事業概要	本市が管理する準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界について、双方現地立会で境界線の位置を協議のうえ定める。												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						申請に対し、その土地と水路等の境界について、スムーズな手続きが出来る。				準用河川・法定外公共物に隣接する土地所有者より、既明示証明申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明					既明示証明申請に対する対応件数				既明示証明申請件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					15	15	15	15	15	15	15	15
	実績					11				7			
	達成度												
分析					新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言、まん延防止措置により、少なからずとも不急の申請等が控えられたと推測される。				新型コロナウイルス感染症の影響で申請数は減ったが、迅速に証明発行ができた。				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						申請に対し、その土地と水路等の境界について、スムーズな手続きが出来る。				準用河川・法定外公共物に隣接する土地所有者より、新規明示申請を受け付ける。			
指標設定②	指標説明					新規明示申請に対する対応件数				新規明示申請件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					70	70	70	70	70	70	70	70
	実績					44				44			
	達成度					63%				63%			
分析					新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言、まん延防止措置により、少なからずとも不急の申請等が控えられたと推測される。				新型コロナウイルス感染症の影響で申請数は減ったが、想定通りに境界確定ができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.47
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	22,842	17,926	16,699		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	22,842	17,926	16,699		
	物件費計	279	262	171	562	30%	
	歳出計	23,121	18,188	16,870			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	171	169		
	市債	0	0	0	0		
	その他	279	262	0	0		
	歳入計	279	262	171	169		
一般財源		22,842	17,926	0	393		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	申請件数が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少したと思われ、そのため指標の達成度は減少したが、申請受付分については、円滑に事務を実施できた。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	申請があれば速やかに調査・調整を図り、円滑かつ適正な事務執行に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	準用河川等管理事務													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	土木部				課	道路河川管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	2011 (H23) 年度				年度	~				年度まで			
根拠法令等	河川法、枚方市法定外公共物の管理に関する条例、同施行規則、枚方市準用河川占用料条例、同施行規則、枚方市準用河川の管理に関する規則												
関係補助金名称												サンセット	~
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	準用河川の利用者、隣接者等											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	準用河川等の適切な管理を求められている。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	河川法を遵守した土地利用ができています。												
事業概要	準用河川の河川法に基づく許可及び準用河川占用料の徴収 法定外公共物(水路)の使用許可及び使用料の徴収 国、府の管理する河川、水路等の占用許可の経由事務 準用河川、法定外公共物(水路)に関する苦情、要望、事故等の処理事務												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
ロジックモデル						各申請に対し、適切に対応する。				準用河川、法定外公共物、国、府の管理する河川、水路等の占用許可申請を受け付ける。							
指標設定	指標説明					申請に対する対応件数				申請件数							
	指標種類	単位				単位 件				単位 件							
	指標数値	R2 R3 R4 R5				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					25	25	25	25	25	25	25	25	254			
	達成度					1016%				1016%							
	分析					申請に対して、適正な事務を行った。				申請に対して、適正な事務を行った。							
ロジックモデル②						苦情、要望、事故等に対し、適切に対応する。				準用河川、法定外公共物に関する苦情、要望、事故等を受け付ける。							
指標設定②	指標説明					苦情、要望、事故等の対応件数				苦情、要望、事故等の件数							
	指標種類	単位				単位 件				単位 件							
	指標数値	R2 R3 R4 R5				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					10	10	10	10	10	10	10	10	28			
	達成度					0%				0%							
	分析					見込みより多くなった。				見込みより多くなった。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	15,194	17,096	9,015	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	15,194	17,096	9,015	
	物件費計	9,174	12,806	0	10	—
	歳出計	24,368	29,902	9,015		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	24,368	29,902	0	10	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	申請件数や苦情、要望等の件数が増えたため、見込みより多くの人員を配置することとなった。今後、処理時間の短縮のために効率化を図る。 河川法申請 36件、法定外公共物使用許可等申請 188件、法定外公共物施行承認 24件、国や府の管理経由事務 6件
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市道路長寿命化計画事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	土木部				課	道路河川管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	2018 (H30) 年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	道路法											
関係補助金名称								サンセット	~			
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	道路の利用者。										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	突発的な補修が発生した場合は多大な財政負担が発生することになり、迅速な補修に影響を与える。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	計画に基づいた点検、修繕を実施し、持続可能な道路施設の維持管理が継続できており、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。											
事業概要	枚方市道路長寿命化修繕計画として、メンテナンスサイクルを確立し、道路施設全般の維持管理に関する基本方針を示す。また、個別施設計画に基づき、効率的・効果的で持続可能な道路施設の維持管理を推進する。											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						「枚方市道路長寿命化計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「枚方市道路長寿命化計画」に係る事務を実施する。			
指標設定	指標説明					道路施設点検を完了した箇所数				計画に基づく道路施設点検必要箇所数			
	指標種類	単位				単位 箇所				単位 箇所			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					30	141	95	4	30	141	95	4
	実績					30				30			
	達成度					100%				100%			
分析					計画通り点検を完了した。				計画通り点検を完了した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.42
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,749	3,768	3,350	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,749	3,768	3,350	
	物件費計	8,515	8,239	10,395	10,396	100%
歳出計		10,264	12,007	13,745		
歳入	国庫支出金	0	2,750	4,730	4,730	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	2,750	4,730	4,730	
一般財源		10,264	9,257	5,665	5,666	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	枚方市道路長寿命化修繕計画(基本方針)やトンネルおよび土工構造物の個別施設計画の序内説明を行ったため、例年より人員を配置した。また、道路施設の点検については、計画通り実施することができた。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	計画に基づき、橋梁の点検を実施する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	道路河川管理課運営事務											
測定年度	2020(R2)年度			部	土木部			課	道路河川管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外										
	施策目標	99.施策体系外										
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	不明			年度	~		年度まで					
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット	~				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	道路河川管理課所管事務に従事する職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	事務の適正かつ効率的な運営の継続										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務の適正かつ効率的な運営の維持											
事業概要	1 予算及び決算に関する事務 2 行政評価及び事業計画等に関する事務 3 物品の契約及び整理、保管に関する事務 4 職員の休暇及び服務に関する事務 5 文書の收受、発送及び整理、保管に関する事務 6 公用車4台の点検整備及び維持管理に関する事務											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル													
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)												
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	2.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.48
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	13,199	7,215	16,349		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	2,402	4,225		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	13,199	9,617	20,574		
	物件費計	3,348	3,446	874	1,772	49%	
	歳出計	16,547	13,063	21,448			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	593	585		
	市債	0	0	0	0		
	その他	3,348	3,446	0	0		
	歳入計	3,348	3,446	593	585		
一般財源		13,199	9,617	281	1,187		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大のため窓口業務については職員数を削減等を行い対応したが、業務量としては例年通りであった。今後は、窓口での発行事務内容の見直しを行い、効率化を図る。 道路等関係図面等写し発行事務 3374件 意見、要望等の処理事務 398件
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して効率的な事務執行を行う。